

＜第10回：「子どもの貧困」シンポジウム＞ 開催要綱

活動開始10周年記念シンポジウム（後編）

子どもたちのウェルビーイングの実現のために  
～子どもたちが直面している現実  
&必要とされる支援～

1. 趣旨

昨年度に引き続き、「子どもの貧困」対策を巡る日本社会の動向を踏まえたうえで、私たちが取り組んできた歩みを振り返ることにより、そのパッションとミッションを見つめ直し、今後、必要とされる支援活動のあり方を検討する。

昨年度は「子どもの貧困」対策事業に参画している若者たちの活動内容に焦点をあて、若者たちがいかなる問題意識のもとで、何を考え、何に苦悩し、何を創り出したいと格闘してきたのか？ その思いに耳を傾けることを通して、「子どもの貧困」対策における若者の役割と可能性について考えた。

後編の今年度は、昨今、子ども支援の領域において注目されてきている「ウェルビーイング」の視点から、子どもたちが直面している現実と心象風景を紐解き、多職種・多機関連携のあり方も含め、おとな(社会)に求められている支援のあり方について考えたい。

2. 開催日時 2023年3月12日（日曜日）12:00～17:00

3. 開催スタイル オンライン（zoom）開催

4. 参加者対象者 県・市町村行政職員、こども家庭福祉従事者、教育・福祉・心理・医療・保健・司法などの領域の支援者、学校教職員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、市民、「子どもの貧困」等の子どもを巡る社会問題にご関心のある方、等。

5. 定員 300名

6. 参加費 無料

7. 主催 独立型社会福祉士事務所 子どもと家族の相談室 寺子屋お～ぷん・どあ  
共催 一般社団法人てのひら  
一般社団法人静岡県社会福祉士会 こども家庭福祉委員会

8. その他 本シンポジウムは「令和4年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業」の助成を受けて開催されます。

9. お詫び

新型コロナ禍を考慮し、本来は対面にて開催したいのですが、昨年度と同様、オンラインにて開催することにしました。

## 10. シンポジウム内容（3部構成）

11:45—12:00 入室受付  
12:00—12:05 開会のご挨拶

### 【第1部】

12:05—13:35 **【基調講演】**

テーマ：「すべての子どもを大切にする子どもの貧困対策  
～スタートラインは子どもの権利、ゴールは子どものウェルビーイング～」

講師：末富 芳さん（日本大学 文理学部 教授）

13:35—13:45 休憩

### 【第2部】

13:45—14:20 **【子どもサポーターからのナラティブ～「てのひらと私」～】**（ご発言順）

芦澤真優さん（常葉大学 教育学部 心理教育学科2年）

宮崎歩夢さん（常葉大学 外国語学部4年）

竹村紗耶さん（常葉大学 教育学部 心理教育学科3年）

榎本なほ子さん（静岡大学 教育学部 特別支援教育専攻4年）

稲谷翔一さん（静岡大学教職大学院 教育学研究科 教育実践高度化専攻  
修士課程2年）

14:20—14:45 **【実践報告】**

テーマ：「新たな課題に向けて～今までの実践&今後の展望～」

講師：杉村佳代子さん（社会福祉士、子どもと家族の相談室／寺子屋お～ぷん・どあ スタッフ、一般社団法人てのひら 副代表&事務局長）

### 【第3部】

14:45—16:55 **【パネルディスカッション】**

14:45—14:50 趣旨、進行のご説明、ご登壇者のご紹介

14:50—16:10 パネリストからのご発言（各20分×4名）

16:10—16:55 ディスカッション

テーマ：「子どもたちのウェルビーイングの実現のために  
～子どもたちが直面している現実&必要とされる支援～」

〈パネリスト〉（ご発言順）

毎熊省一さん（公立小学校校長、前公立中学校教頭）

深沢美里さん（静岡県立こども病院PSW）

原田恵子さん（静岡県警察本部少年課 少年サポートセンター課長補佐）

屋部真央さん（一般社団法人てのひら スタッフ、元子どもサポーター、社会福祉法人勤務ケアワーカー、20代）

〈助言者〉

末富 芳さん（日本大学 文理学部 教授、基調講演者）

〈コーディネーター〉

川口正義（認定社会福祉士、独立型社会福祉士事務所 子どもと家族の相談室  
寺子屋お～ぷん・どあ 共同代表、一般社団法人てのひら 代表理事）

16:55—17:00 閉会のご挨拶

11. お申込み先

以下の URL あるいは QR コードよりお申込みください。

<https://www.kokuchpro.com/event/terakoya10/>



12. お申込み締め切り：2023年3月11日（土曜日）

13. 個人情報の取り扱いについて

本シンポジウム申込者の個人情報は、本シンポジウムの運営、及び今後のシンポジウム等のご案内、ネットワーク作りに係る目的のみに使用し、他の目的で使用することはありません。

14. お問い合わせ先

独立型社会福祉士事務所 子どもと家族の相談室 寺子屋お〜ぷん・どあ

terakoya.open.door@gmail.com

長時間となりますが  
ご関心がありましたら  
是非、ご参加くださいませ。  
お待ちしております♥



## 【Profile】

### 【基調講演者、助言者】

## 末富 芳（すえとみ かおり）さん

#### ■現職

日本大学・文理学部・教授

#### ■専門分野

教育財政学、教育行政学



#### ■略歴

- 1997年 京都大学教育学部卒業
- 2002年 京都大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学
- 2003～2010年 国立大学法人・福岡教育大学勤務
- 2010年4月 日本大学文理学部准教授
- 2016年4月 日本大学文理学部教授
- ※2009年 博士(学術)取得、学位授与機関・神戸大学

#### ■主な社会活動

- 2010年 独立行政法人経済産業研究所「経済成長を促す人的資本構築のための公教育負担」検討会議委員
- 2012年 国立教育政策研究所・客員研究員
- 2013年～2014年 下村博文文部科学大臣主催・教育財源確保策に関する勉強会委員
- 2014年 内閣府・子供の貧困対策に関する検討会 構成員
- 2014年～ 参議院・文教科学調査室・客員調査員（現在に至る）
- 2014年～2015年 東京大学・教育学部・非常勤講師
- 2015年 文部科学省・教育再生の実行に向けた教職員等指導体制の在り方等に関する検討会議委員
- 2016年～ 内閣府・子供の貧困対策に関する有識者会議 構成員（現在に至る）
- 2017年～ 文部科学省・高校生等への修学支援に関する協力者会議委員（現在に至る）
- 2020年～ 大学入試のあり方に関する有識者会議委員（現在に至る）
- 2020年～2021年 中央教育審議会・初等中等教育分科会・高等学校ワーキングチーム 臨時委員
- 2020年～スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業の今後の方向性等に関する有識者会議委員（現在に至る）
- 2021年～ 中央教育審議会・初等中等教育分科会・教育課程部会臨時委員

#### ■主著

- 末富芳, 2010, 『教育費の政治経済学』勁草書房  
<https://www.amazon.co.jp/%E6%95%99%E8%82%B2%E8%B2%BB%E3%81%AE%E6%94%BF%E6%B2%BB%E7%B5%8C%E6%B8%88%E5%AD%A6-%E6%9C%AB%E5%86%A8-%E8%8A%B3/dp/4326250623>
- 末富芳編著, 2017, 『子どもの貧困対策と教育支援——より良い政策・連携・協働のために』明石書店  
<https://www.amazon.co.jp/dp/4750345709>
- 末富芳・桜井啓太, 2021, 『子育て罰—「親子に冷たい日本」を変えるには—』光文社新書

## 【コーディネーター】

### 川口 正義 (かわぐち まさよし)

#### ■現職

独立型社会福祉士事務所 子どもと家族の相談室  
寺子屋お〜ぶん・どあ 共同代表  
一般社団法人てのひら 代表理事  
静岡市教育委員会SSWr & SVr  
静岡県立静岡中央高校SSWr  
東北福祉大学兼任講師、認定社会福祉士



#### ■専門分野

ソーシャルワーク、子ども家庭福祉、精神保健福祉

#### ■略歴

1979年 東海大学海洋学部船舶工学科卒  
1981年 東北福祉大学社会福祉学部卒  
1981年 社会福祉法人仙台キリスト教育児院勤務（～1985年）  
その間、横浜・寿町にてホームレス支援（ボランティア活動）  
1986年 学術セミナー教育企画 暁星学院勤務（～1988年）  
1986年 インド、マザーテレサの施設「死を待つ人の家」「Prem Dam」にてボランティア活動  
1989年 子どもと家族の相談室 寺子屋お〜ぶん・どあ開設  
1997年 独立型社会福祉士事務所 子どもと家族の相談室 寺子屋お〜ぶん・どあとして再編（～現在に至る）  
2003年 早稲田大学非常勤講師（～2005年）  
2007年 東北福祉大学通信制大学院修士課程（総合福祉学研究科社会福祉学専攻）修了  
2007年 東北福祉大学通信教育部 兼任講師（～現在に至る）  
2008年 静岡市教育委員会SSWr & SVr（～現在に至る）  
2014年 社会福祉法人エミリー 静岡乳児院SVr（～2015年）  
2015年 静岡大学教職大学院非常勤講師（～2017年）  
2016年 静岡県立静岡中央高校SSWr（～現在に至る）  
2019年 千葉大学教育学部非常勤講師（～2020年）

#### ■社会的活動

1992年 養育里親登録（～2010年）  
1997年 社会福祉士登録  
1999年 静岡県知事諮問機関「静岡県人づくり百年の計委員会」専門委員  
2009年 内閣官房「社会保障改革推進懇談会／第3回児童福祉関係／地域における児童ソーシャルワークの必要性について」にて提言  
2014年 一般社団法人静岡県社会福祉士会 理事&子ども家庭福祉委員会委員長（～現在に至る）  
2015年 文部科学省「平成27年度地域政策等に関する調査研究～地域振興に有効な教育実践の実態把握とその普及方策に関する実践研究～」地方委員会構成員  
2017年 認定社会福祉士登録  
2018年 静岡市子どもの貧困対策推進会議委員（～2019年）  
2018年 第36期静岡県社会教育委員会諮問委員（～2019年）  
2022年 静岡県才徳兼備小委員会（総合教育会議下部組織）委員（～現在に至る）



## 【独立型社会福祉士事務所 子どもと家族の相談室 寺子屋お～ぷん・どあ】

- ・1989年開設。
- ・児童養護施設勤務時に「家庭崩壊」によって傷ついた数多くの子どもと保護者と出会う中で、さまざまな事情で家族が機能不全に陥り、子どもが心的外傷体験を被り、家庭が崩壊へと至る前に、地域の中で子どもと家族を支援する活動の必要性を痛感し、川口が児童養護施設時代の同僚であったパートナー（妻）と共に、開設。
- ・1997年より独立型社会福祉士事務所を中核とするスタイルにて活動を展開。
- ・地域のなかでの「予防的・長期的・包括的な子ども家庭支援」体制の構築に取り組んでいる。
- ・教育福祉相談活動、個別訪問活動（アウトリーチ）、レストホーム（緊急一時保護）活動、地域生活支援ネットワーク活動、サポートグループ活動、広報・啓発・研修活動、等。

2012年：『子ども・若者・女性の貧困』対策&『家族の機能不全化・貧困の世代間連鎖』予防事業」開始

2015年：相談室を母体として「一般社団法人てのひら」設立

2017年：最貧困女子等、居場所を喪失した若者（少女）のためのシェルター「レスト&ステップホ～ム ヘボの家」事業開始

2018年：15才以降の子ども・若者のための居場所「子ども・若者スペース ダレンの家」事業開始

2019年：居場所を喪失した若者（男子）のためのシェルター事業開始（～2021年）

2020年：機能不全家庭の子どものための「ショートスティホ～ム ぼむの家」事業開始

2021年：社会的養護サービス体験者、ヤングケアラー、社会的逸脱行動等をする若年女子のための居場所「とらすとホ～ム アシロスの家」事業開始

2021年：困難な生育史を有する若年シングルマザーのための「Mom レスパイトサービス リフレッシュ・ママの家」事業開始

## 【一般社団法人 てのひら】

2015年設立

### 【目的】

1. 子ども、若者たちに「希望」と「信頼」及び「この世は生きるに値する」との思いを感じてもらうための「安心・安全な関係と場」（居場所）の提供
2. アウトリーチによる保護者・家族に対する子育て家庭支援を通しての「予防的・長期的・包括的支援」体制作り
3. フォーマル及びインフォーマルな社会資源によるソーシャルサポート・ネットワーク作り
4. アドボカシー、ソーシャルアクションによる社会資源の再資源化と創出

### 【事業内容】

1. 静岡市委託事業
  - ・静岡市生活困窮世帯、ひとり親家庭等の子どもへの学習支援及び生活支援業務
  - ・静岡市生活困窮者子どもの学習意欲向上事業
2. 自主事業（学習支援、等）
3. 「独立型社会福祉士事務所 子どもと家族の相談室 寺子屋お～ぷん・どあ」との連携事業（上記）
4. 生活支援、学習支援、保護者・家族への日常生活支援、保護者・家族の参画活動、緊急一時保護滑動、支援者・市民向け啓発活動、地域生活支援ネットワーク活動、ボランティア&スタッフ育成活動、等